

戸隠タイム Grand Design 2011

学校目標

『己に克つ』という強い意志をもち、粘り強く最後までやりぬく

学校経営の基本方針

生きる力を身につけた戸隠を愛する子どもの育成を目指し、縦の接続と横の連携を図りながら開かれた学校づくりを行う。

生徒の姿に見るよさ

- ・学習や諸活動に真面目に取り組むことができる
- ・奉仕的な活動に対して、労を惜しまず協力できる
- ・自分から積極的にあいさつできる生徒が多い
- ・朝読書や給食黙想など、けじめある行動がとれる

生徒の姿に見る課題

- ・人間関係を維持、構築していく力が弱い
- ・問題の解決を他者に委ねる傾向がある
- ・言動に対する責任意識が低い
- ・とりあえず高校という意識での進路選択がある

キャリア教育 『戸隠タイム』の推進

< 戸隠タイム >

総合的な学習の時間、道徳教育、進路指導を中核とした全教育活動の実践

1 『戸隠タイム』のねらい

自己の将来に目を向け、学ぶ目的や働くことの意義について考え体験することを通して自己の適正や能力を生かした進路設計ができる生徒の育成をめざす

2 基本目標 将来の生き方を考え、自らの目標に向かって努力していく能力を育てる

自分のよさや個性が分かり、他者のよさや感情を理解し尊重できる能力を育てる
<重点 勤労観を基盤とする職業観の育成 人間関係形成能力の育成 >

3 育てる諸能力

- ①自分が、集団や社会の中で、役割を果たすことに喜びを持つ
- ②自分はどんな部分で、社会の役に立てるのかを考えながら、将来の方向性を定める
- ③自分のよさや個性を理解し、自分にはどんな生き方が求められているかを考える
- ④自分の言動に伴う責任がわかり、相手や他者に及ぼす影響を考え行動する
- ⑤自分の課題に目を背けず、解決に向けて自分自身で行動する

4 評価の観点

教科・領域での観点

< 総合的な学習の時間 >

- ①地域での体験学習の中で「働くとはどういうことなのか」について自分なりの考えを持つことができる。
- ②体験学習に伴うコミュニケーションスキルの基本・基本を身につけることができる。

< 道徳教育 >

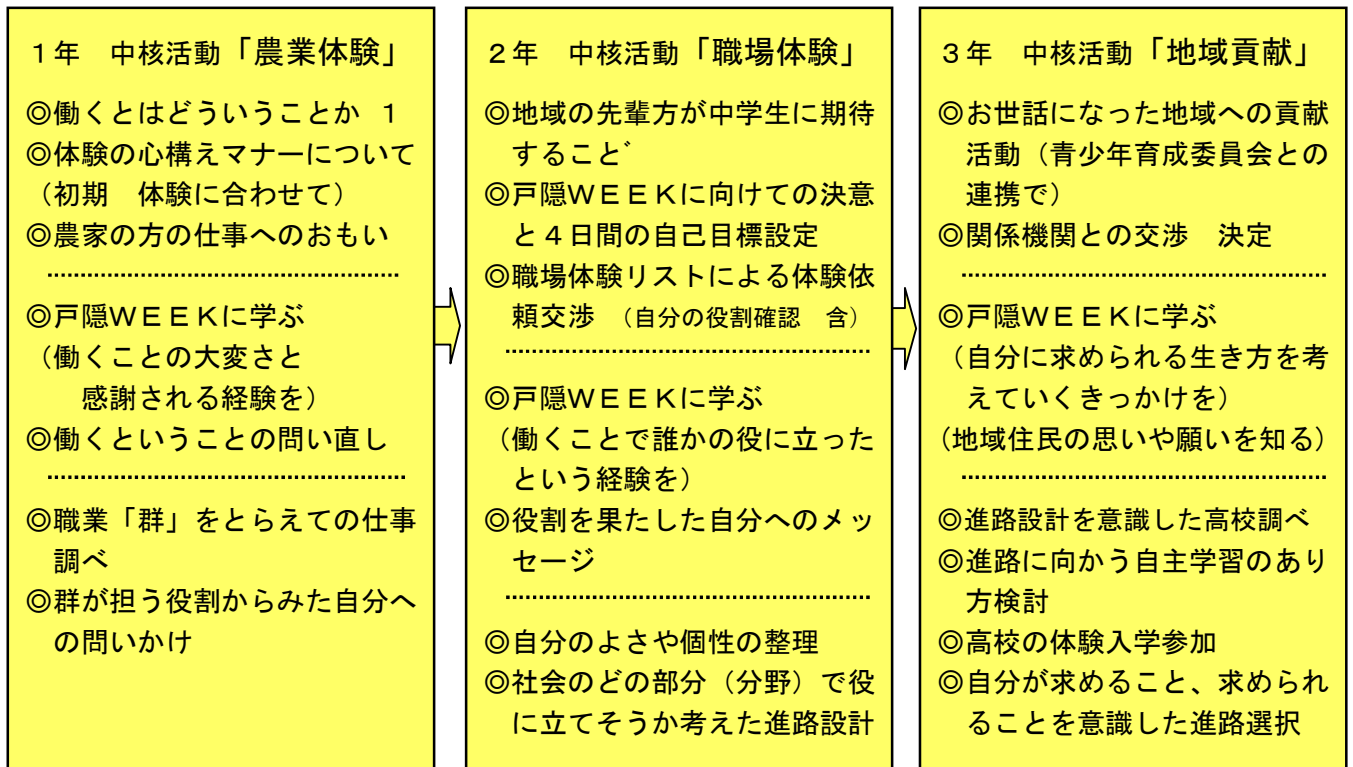
- ①体験学習を通して、自らの課題をどう克服していくかについて問うことができる。
- ②学級の仕事や体験学習の中で、自分に求められる生き方やあり方について問うことができる。

< 進路指導 >

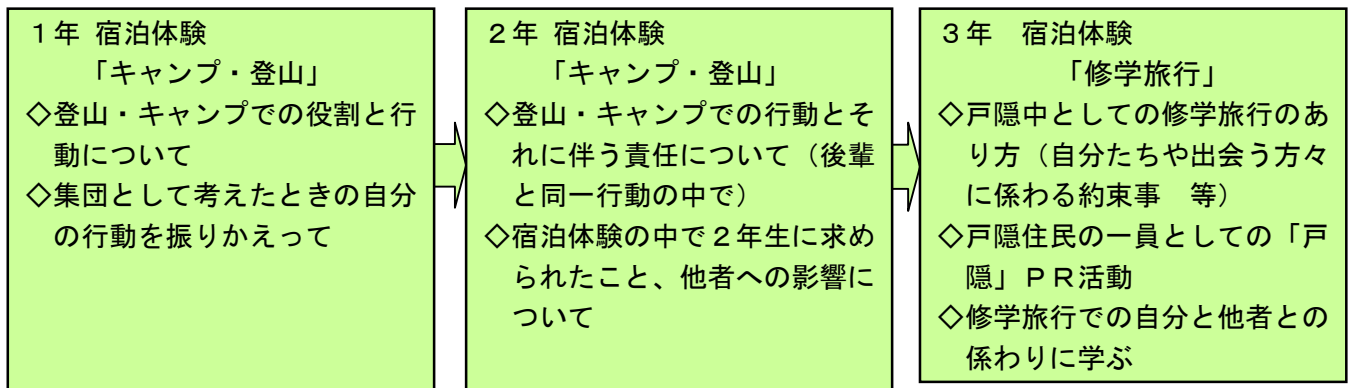
- ①仕事に従事する人の生き方に触れ、これからの自分生き方について考えを深めることができる。
- ②自分の良さや個性をいかして暫定的な進路決定ができる。

5 「戸隠タイム」における勤労観と人間関係形成能力の育成の視点

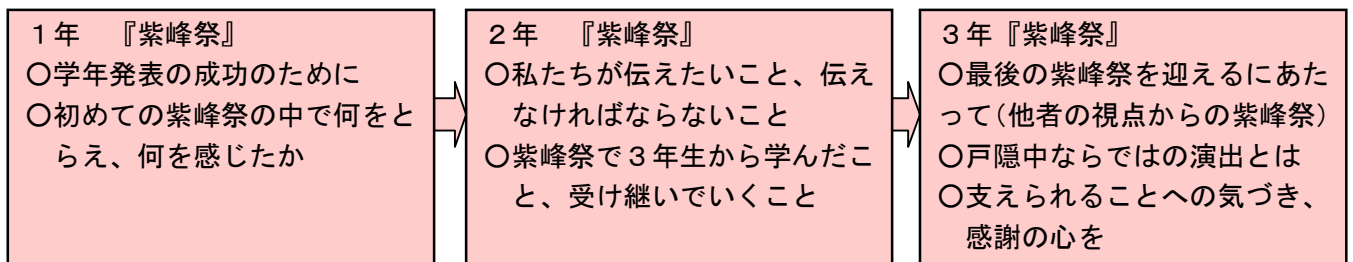
①将来を見据えた自分づくり (勤労観の確立と職業観への橋渡し)



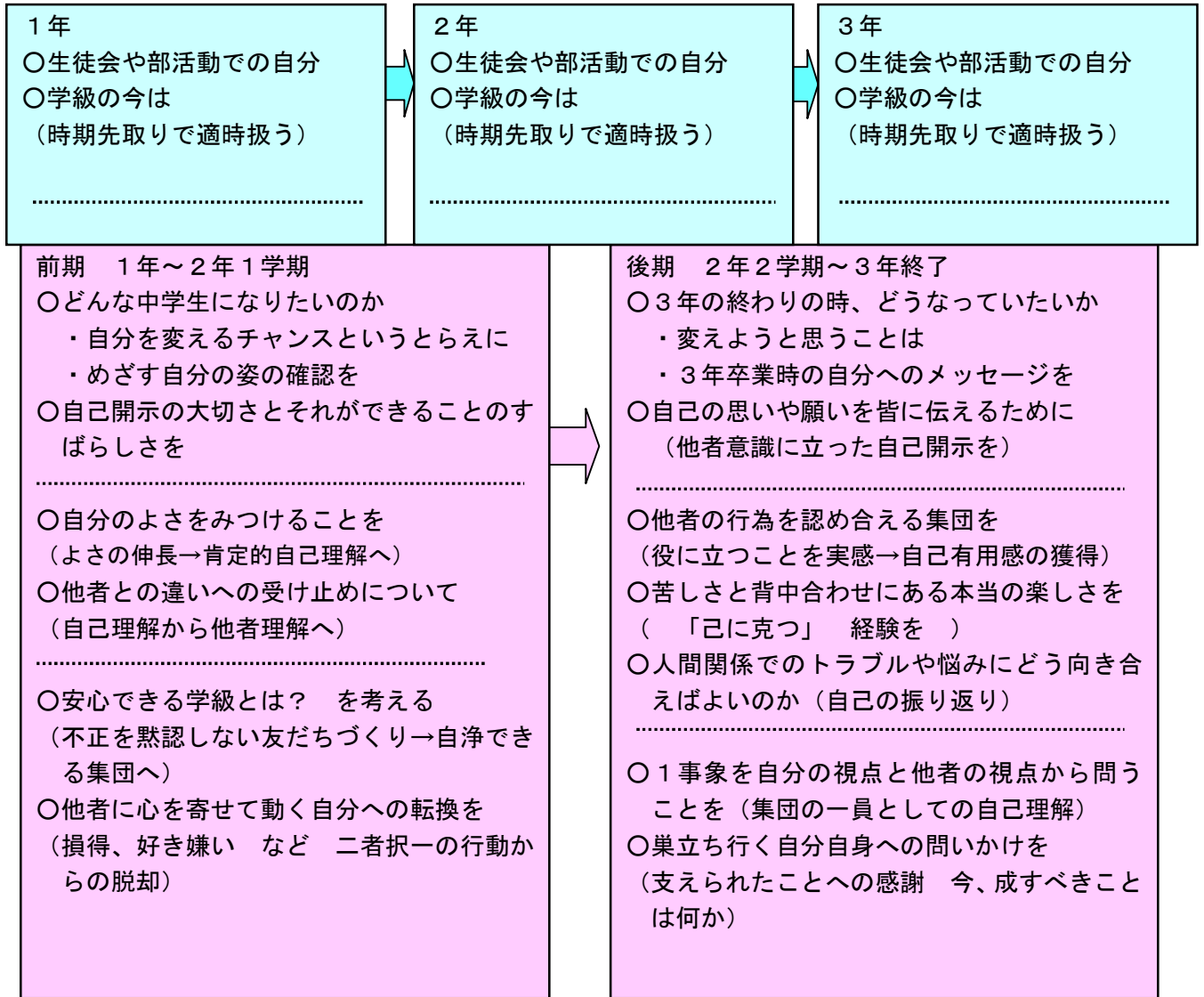
②集団の中での自分づくり (個を高め、集団の中での個の確立を)



③生徒会最大行事の中での自分づくり (生徒が生徒の姿から学ぶ活動へ)



④学級内での自分づくり (他者との人間関係づくりを)



6 「戸隠タイム」の全体計画（概要）

* 指導計画は各学年で作成

	1 学年	2 学年	3 学年
四月	<ul style="list-style-type: none"> ○学級びらき ・中学校生活の心構え ○クリーン大作戦 ・戸隠のゴミの現状 	<ul style="list-style-type: none"> ○2 学年のスタート ・2 学年としての心構え ○小鳥の巣箱かけ ・巣箱づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○最高学年を迎えて ・よりよい学校生活にするために ○修学旅行 ・修学旅行の行程やマナーの確認 ・戸隠中としての修学旅行の演出 ・修学旅行をふり返って
五月	<ul style="list-style-type: none"> ○人権同和教育の実践 ○働くということについて ○農業を体験してみよう ・体験を通して 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権同和教育の実践 ○働く先輩からのメッセージ ○戸隠WEEK（職場体験）に向けて ・自己目標設定 ・体験リストの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権同和教育の実践 ○進路設計を意識した高校調べ ・各高校の特色、卒業後進路 ・学習カリキュラム ・自己の学習のあり方 ○体験入学する高校の決定 ・目的を持った体験入学
六月	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠WEEKに向けて ・仕事内容の確認 ・体験農家の決定 ○登山、キャンプに向けて ・日程の確認 ・役割 行動のあり方 ・係りの決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験リストによる体験 依頼、交渉 ・依頼のマナー ・仕事内容 等 ○登山、キャンプに向けて ・日程の確認 ・行動と責任について ・係りの決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠WEEKに向けて ・お世話になった地域への貢献。必要とされる仕事の情報収集 ・自分たちに期待されることを基本にした活動の決め出し ○紫峰祭の基本方針の決定と提案 ・最後の紫峰祭 ・戸隠中ならではの紫峰祭
七月	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠WEEKの実施計画にもとづく学習 ・日程、仕事内容 等の確認 ○登山、キャンプに向けての最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠WEEKの体験事業所決定 ・職場への挨拶、正式依頼 ○登山、キャンプに向けての最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸隠WEEKでの貢献活動の決定 ・仕事内容の確認 ・派遣人数割 ・移動手段等の確認 ○紫峰祭の細案審議、各活動開始 ○進路に向けての講話 ・高校の先生 ・高校の先輩からのメッセージ ○炭焼き体験活動

「戸隠タイム」の全体計画（概要）			
	1 学年	2 学年	3 学年
八月	○登山、キャンプを振り返って	○登山、キャンプを振り返って	
「地域で学ぶ戸隠week」（8月30日～9月2日） 1年 働くことの勤労体験（農業体験学習2日） 2年 地域で学ぶ職場体験（職場体験学習4日） 3年 地域貢献としての体験（地域貢献体験2日）			
九月	○戸隠WEEKを振り返って ・働くということについて再度考える。 ・お礼状の作成	○戸隠WEEKを振り返って ・働くことの中で役に立てた経験（足りなかった点）を考える ・お礼状の作成	○戸隠WEEKを振り返って ・自己に求められる生き方を考える
	○初めて紫峰祭に向けて	○紫峰祭で伝えたいこと、伝えるべきこと	○紫峰祭をどう演出するか
十月	○紫峰祭で学んだこと ○健康教育の実践 ・食育 歯科 性教育	○紫峰祭で受け継ぐこと ○健康教育の実践 ・食育 歯科 性教育	○支えられたことへの感謝 ○健康教育の実践 ・食育 歯科 性教育
	○福祉体験日 ○実践発表会の準備	○福祉体験日 ○実践発表会の準備	○福祉体験日 ○実践発表会準備
十一月	○人権同和教育の実践 ○実践発表会の準備	○人権同和教育の実践 ○実践発表会の準備 ○生徒会の引継ぎに向けて	○人権同和教育の実践 ○実践発表会の準備
「地域で学ぶ戸隠week」実践発表会（11月11日） 地域の方々、事業所の方々、保護者の皆様をお招きしての発表会、			
十二月	○国際理解講演会	○国際理解講演会 ○生徒会の運営について	○国際理解講演会 ○進路選択に向けて
一月	○職業『群』をとらえての職業調べ	○自分のよさや個性の整理 ○社会のどの部分(分野)で役にたてそうかを意識した進路設計	○進路選択
二月	○6年生への学校紹介		○巣立ちゆく自分自身への問いかけと後輩に残す姿
三月		○修学旅行に向けて	

